令和7年8月25日

むつ運動公園交通広場の廃止について

この度、昭和57年に開設されたむつ運動公園交通広場につきまして、今年度をもって廃止することといたしましたので、御報告させていただきます。

本施設は、長年にわたり多くの市民の皆様、特に児童の交通安全教育の場として活用されてまいりました。

昭和57年の開設時には、年間1万2,000人余りの皆様に御利用いただき、交通安全教育において一定の成果を挙げてまいりました。以前は平日も運営しておりましたが、利用者数が年々減少していることから、平成28年からは土日祝日のみの開場とし、平日は学童団体からの予約があった場合に限り運営する体制へと移行しておりました。

また、開設から43年が経過し、施設の老朽化が進んでいることに加え、設備の更新や維持管理にかかる費用負担も年々増加しており、施設の設置目的である交通安全思想の普及と正しい交通ルールの実践の効果的な達成が難しくなっております。

一方で、社会全体としては交通安全教育の充実、車両の安全性能向上、通学路対策の充実、取り締まり・啓発活動の強化等により、交通事故による死者数は、大幅に減少しております。こうした状況は、本施設を含めたこれまでの施策の成果でもあり、一定の役割を果たしてきたものと認識しております。

さらに、平成30年度に策定されたむつ市みどりの基本計画におきましては、公園ストックの最適化に向け、本施設につきましては、長寿命化を図るのではなく、他用途への転換を検討すべき対象として位置付けられております。

こうした方針を踏まえ、公園内における駐車場不足と本施設の現状を総合的に勘案した結果、本施設を廃止することとし、廃止後は跡地利用として駐車スペースとしての活用を検討しております。なお、むつ下北地区大会規模以上の大会が開催される際には、車両が競技場内の駐車場に収容しきれず、競技利用者や周辺住民の皆様から御意見や御要望を頂戴しているのが現状であります。

これらを解消し、施設を御利用いただく全ての皆様にとって、より安心・安全な環境を提供するためにも、駐車場の増設は喫緊の課題と捉えております。

今後は、交通安全教育を希望する小学校や幼稚園、保育園を対象に、出前形式に

よる交通安全教室の実施等、新たな形での普及啓発に取り組んでまいります。

議員各位におかれましては、本件の趣旨を御理解いただき、引き続き御協力を賜りますようお願い申し上げます、御報告とさせていただきます。

令和7年8月25日

第27回参議院議員通常選挙における投票用紙の誤交付について

この度の第27回参議院議員通常選挙において、投票用紙の誤交付が発生したことにつきまして、御報告させていただきます。

まずは、今回の誤交付により有権者8人分の大切に貴重な票が無効票となった可能性が高い状況となったことに対しまして、心よりお詫び申し上げます。

それでは、誤交付が発生した経緯等について申し上げます。

去る7月20日に執行されました第27回参議院議員通常選挙において、午前8時40分頃、第43投票区投票所蛸崎地区公民館に投票に来た8人目の方が、比例代表の投票を行おうとした際、交付された投票用紙の違いに気付き、これまでに投票を済ませた7人分と8人目の方が投じた選挙区の投票分までの間、選挙区と比例代表の投票用紙を誤って交付していたことが判明したものであります。

これらの票につきましては、公職選挙法第68条の規定により、無効票となった可能性が高いものであります。

今回の事案が発生した原因につきましては、投票所での朝の準備段階において、選挙区の投票用紙を交付する場所に比例代表の投票用紙を、比例代表の投票用紙を交付する場所に選挙区の投票用紙を誤って設置したこと及び選挙事務従事者の認識不足と確認不足によるものであります。

この事案を受け、投票用紙の誤交付が行われました皆様に対しまして、個別に訪問し、状況の説明を行い、謝罪をさせていただきました。

また、市のホームページにて事実の公表をさせていただくとともに、報道各社に対し記者発表を行いました。

公平・公正が求められる選挙事務を執行するに当たり、このような事案が発生させてしまい、心よりお詫び申し上げますとともに、今後はこのようなことがないよう、投票所の事務作業における確認の徹底だけではなく、選挙事務従事者に対して、選挙執行時の事務作業の誤りが社会に与える影響の大きさなどについても周知を行い、改めて選挙事務の重要性の再認識を図り、再発防止及び信頼回復に努めてまいりますので、御理解を賜りたいと存じます。